

2019年2月21日

## 中伝悦衆(北京)文化発展有限公司と 株式会社 PALABO(日本) 中国文化伝媒新文創 (IP) プラットフォーム に関する戦略提携協定を締結

中伝悦衆(北京)文化発展有限公司  
株式会社 PALABO

中国文化観光部直轄の国営企業の子会社である中伝悦衆(北京)文化発展有限公司 (以下、「中伝悦衆」という) と株式会社PALABO (以下、「PALABO」という) は、2019年2月21日付で戦略提携協定を締結し、文化交流を目的として、アニメ、漫画、関連派生製品、イベント、PALABOが開発した教育カリキュラム及び文化作品の普及を目指すとともに、中国文化IPを元にした新たなIPの開発、日本におけるプロモーション活動などの相互協力を行うこととしました。

PALABOは、日本のアニメ関連事業企画・開発会社であり、「アニメ+」の各種事業計画の開拓に注力しており、特に「アニメ+教育+ICT」事業に着目しています。PALABOは、その顧問先である株式会社幼児教育実践研究所 (日本の有名な幼児教育研究機関) とともに、幼児がアニメを通じて楽しく学べるよう、多くのアニメ教育カリキュラムを開発、プロデュースしています。その親会社である株式会社PA.WORKSは (以下、「PA.WORKS」という)、有名な日本のアニメ制作会社であり、その代表作には「true tears」、「さよならの朝に約束の花をかざろう (昨年の上海国際映画祭において日本作品としては初の最優秀アニメーション賞を受賞し、現在中国全土にて劇場公開中)」、「花咲くいろは」等の優秀な作品が含まれており、かつ過去に「レイトン教授と永遠の歌姫」、「SHIROBAKO」、「有頂天家族」等の数々の人気アニメ作品を手掛けています。

PALABOの親会社であるPA.WORKSが原作開発を行い、中伝悦衆が運営するIPプラットフォームに積極的に登録した、この幼児教育カリキュラムにも登場するキャラクターには、中国発祥で日本の文化にも深く根付いている文房四宝「筆、墨、硯、紙」などの要素を使用したものがあり、それらのキャラクターを幼児教育カリキュラムに用いることにより、新しいコンテンツビジネスモデルを展開し、注目を集めています。

今回の戦略提携は、中伝悦衆とPALABOの協力を通して、日本の優秀な創作開発リソースをもとに、中国の伝統的な文化要素を織り込むことにより、新たな中国文化IPを創出するとともに、新たな形態を生み出し、日本においても宣伝、普及できることを期待しています。同時に、中国市場に向けてPALABOの優れた幼児教育IPを宣伝、普及させることにより、中国の消費者に対し、より良い選択肢を提供できるようになることも期待しています。